

俳句・短歌を募集

3日必着

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して、みらい創造課までお寄せください。1人1句、1首に限りです。

短歌 (投稿順)

ドリフ見てケタケタ笑う我が子見て時代は変われどツボは変わらず
 老いゆく身嘆かず受け入れ励まんとパラリンピックに教えられ生く
 抜ける空流れる雲と黄金田舎太山地今日のふるさと
 萬福寺良範様のご詠歌に作務衣姿の母影さがす
 十月に法師蟬鳴き地は揺れる大禍なきこと静かに思う
 国難の暗き世相に光明の灯をともしたる眞子姫の結婚
 緋かる戦前編の俳句展昔を今に伊昔紅を偲ぶ
 目覚むれば今日ある命確かめつ深く素を吸い一歩踏み出す
 人災か天災なのか熱海での盛り土崩す大雨被害
 炬燵にて繰るアルバム懐かしき八十七歳われの足跡
 精米を終えたばかりの温き米抱えて妹「お歳暮です」と
 山里の祭りは中止寂しかりなれど御社へと氏子掃き行く
 男孫たち英検・漢検二級パス知らせ受く夜は夫と乾杯
 十月に夏日続いて真鍋氏のノーベル賞に列島は沸く
 暮参り野あざみの花迎えられ祖父母と父母の面影偲ぶ
 文化祭マスクで歌う『群青』に当たり前こそ幸せと知る

皆野 大澤 貴夫
 三沢 眞下 杏子
 皆野 戸塚喜久雄
 皆野 石原 達也
 皆野 萩原 初恵
 皆野 根岸 詩子
 三沢 新井 民子
 三沢 新井 叶子
 上日野 四方田利男
 下日野 浅見 豊子
 下日野 新井 節子
 下日野 新井 節子
 国神 藤原マキ子
 皆野 引間 万亀
 皆野 打木 昭廣
 皆野 村田ハツ代
 皆野 太幡琉美花

俳句 榎本順江 選 投稿数 17句

七分搗きの新米囲む朝餉かな
 (評新米の時季になりました。米の搗きかたにもいろいろある様ですが、今日の朝食は栄養価も考えた七分搗きの新米です。ホカホカの香りの中で囲む食卓、味は格別です。元氣に一日が始まりました。二句目、よく知られている地名の追分は軽井沢にあり、中仙道と北国街道の分岐点です。当句の追分の所在は不明ですが、お地蔵様に守られてここから道は右と左への分岐点です。秋空にトンボの群、傍らにお地蔵様。歩きたくなる様な景色です。三句目、案山子・あまり役立つとは見えないところがユーモラス(歳時記より)。雀も少なくなつた様ですが、あちこちに立ちいろいろな姿で通り掛かりの人を楽しませてくれました。役目を終え、担がれて行くのを見て居るのもユーモラス。)

追分や地蔵の空に秋アカネ
 皆野 戸塚喜久雄
 先を行く夫の背を追ふ秋の蝶
 皆野 櫻井 早苗
 役目終え担がれて行く案山子かな
 下日野 新井 節子
 弔電で謝するお別れそぞろ寒
 三沢 眞下 杏子
 移り住み夫婦で挑む冬菜畑
 下日野 小原 和夫
 木の葉髪諦めし事又思ふ
 皆野 萩原 初恵
 残されし稲架の寂しく夕暮るる
 国神 藤原マキ子
 放映の津津浦浦や冬隣
 皆野 根岸 詩子
 校舎背に嬉々と甘藷掘る受験生
 皆野 中 太幡琉美花
 はや寒さきつしと老いの繰り言よ
 皆野 引間 千鶴

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

1月号の締め切りは、12月10日(金)です。

問合せ みらい創造課 政策推進担当 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

まな 愛菜ちゃん

親鼻区 富田 真悟さん 裕子さん



いつも笑顔で元気なまなちゃん! すくすく育ってね☆

今月の題字

国神小6年

今井 鈴奈さん



児童の見守り放送

国神小2年

浅見 夏帆さん

